

子どもたちの明るい未来を守るために

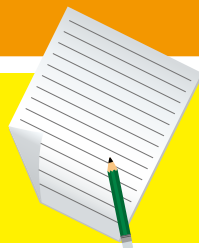
～「かごしま子ども調査」の結果を子育て支援に生かします～

県では、鹿児島で生まれた子どもたちに、「生まれてよかった」「住んでよかった」と思ってもらえるよう、子育て支援に力を入れて取り組んでいます。

昨年度、子どもの生活状況や家庭の経済状況を把握し、今後の施策に生かすため、「かごしま子ども調査」を実施しました。

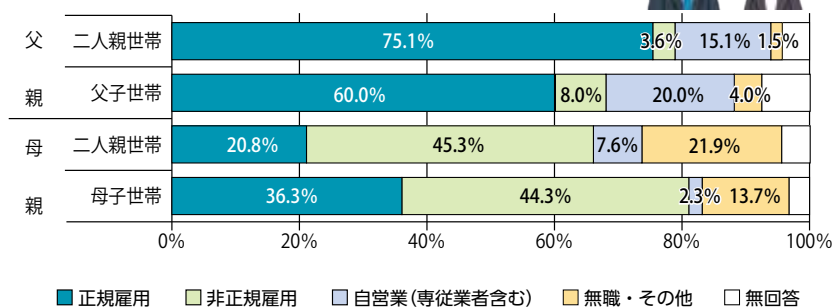


「かごしま子ども調査」でわかったこと

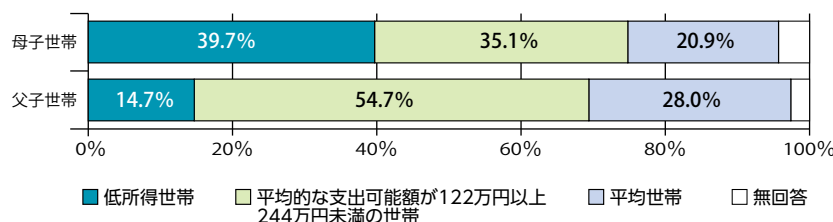


- ひとり親世帯、特に母子世帯は所得が低い傾向がある。
- 低所得世帯ほど、子どもの学習意欲に応えられない。
- 低所得世帯ほど、医療機関の受診をためらう傾向がある。

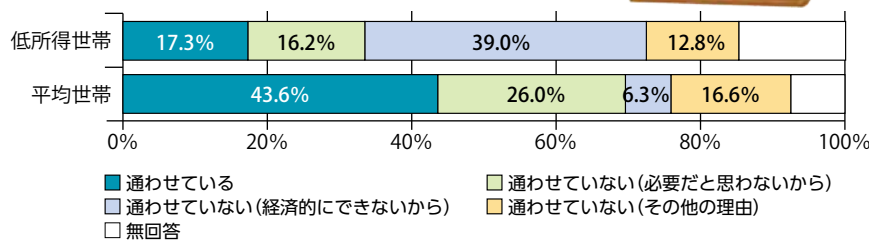
○ 保護者の就労形態はどのようになっていますか？



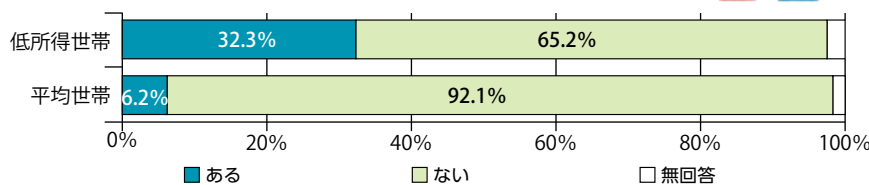
○ 保護者の所得状況はどうなっていますか？



○ お子さんは学習塾などに通っていますか？



○ 経済的な理由で子どもの医療機関の受診をためらったことがありますか？



※ 詳しい調査結果は県ホームページに掲載しています。

かごしま子ども調査

検索

【調査対象】

無作為に抽出した県内の公立小学校の1年生、5年生および公立中学校の2年生の保護者

【世帯区分】

低所得世帯：平均的な支出可能額が122万円未満の世帯

平均世帯：平均的な支出可能額が244万円以上の世帯

「平均的な支出可能額」＝世帯の所得を世帯人員数で割って調整したもの

平成25年国民生活基礎調査における中央値は244万円

県は子育て世帯に必要な支援に取り組んでいきます

生活面

保護者の就労を支援します

低所得世帯の保護者(特にひとり親)の就労に関する相談や、必要な訓練など、就労に向けた支援を行っています。



学習面

低所得世帯が利用できる学習機会を確保します

経済的な理由で子どもたちが夢をあきらめることのないよう、子どもの学習支援などを行います。



医療面

住民税非課税世帯の医療費窓口無料化に取り組めます

経済的な理由で、子どもの受診を控えることにより、症状が重篤化することを防ぐため、住民税非課税世帯の未就学児を対象に、医療機関などの窓口での自己負担をなくす制度を平成30年10月から導入する予定です。



相談窓口

○各市・長島町・屋久島町にお住まいの方

○三島村・十島村にお住まいの方

○さつま町にお住まいの方

○湧水町にお住まいの方

○大崎町・東串良町・錦江町・南大隅町・肝付町にお住まいの方

○中種子町・南種子町にお住まいの方

○大和村・宇検村・瀬戸内町・龍郷町にお住まいの方

○喜界島にお住まいの方

○徳之島にお住まいの方

○沖永良部島にお住まいの方

○与論島にお住まいの方

お住まいの市町の福祉担当課

鹿児島地域振興局 地域保健福祉課

さつまぐらし・しごとサポートセンター

湧水ぐらし・しごとサポートセンター

大隅ぐらし・しごとサポートセンター

種子島中央ぐらし・しごとサポートセンター

北大島ぐらし・しごとサポートセンター

喜界ぐらし・しごとサポートセンター

徳之島ぐらし・しごとサポートセンター

沖永良部ぐらし・しごとサポートセンター

与論ぐらし・しごとサポートセンター

☎099(272)6301

☎0996(52)2443

☎0995(75)2200

☎0994(52)2072

☎0997(26)1703

☎0997(54)1204

☎0997(58)5588

☎0997(82)1122

☎0997(92)2299

☎0997(97)5042

問い合わせ先

県庁子ども福祉課

☎099(286)2766

県庁社会福祉課

☎099(286)2826